

第 110 回グリーンサポート隊活動報告

1. 日時：2020. 10. 18(日)午前9時～11時
2. 場所：C・D地区（トラスト地）
3. 参加者：24名（他に役場3名）
4. 活動内容

活動に先立ち、10月14日除伐隊により草刈を実施しました。そろそろ来年の落ち葉掃きが気になるので今回からD地区の住宅地側と現在の堆肥置き場周辺から刈込を始めました。新規の堆肥置き場も中まで草が伸び放題でこちらもきれいにしました。住宅地側は樹木を切ってしまったので日当たりが良くなり、草の種類も林内とは違ってきますし、草丈も高く人の背丈ほどもあります。



草を刈りこむ前の状況



草を刈りこんだ後の状況



新堆肥置き場 草刈前



新堆肥置き場 草刈後

10月18日(日)の活動日は、当初は既に刈込をほぼ終了しているC地区の刈り込んだ草の型付け及び枯損木の伐採を予定していましたが、トラスト協会が10月28日(水)にチップperを持ち込んで雑木林の山になっている枝や幹を碎いてくれることになったので、急遽本日の作業は各所に山になって積み上げた枝や幹をC地区に運ぶ作業に変更しました。以前チップを敷いた散策路はチップが埋もれてしまっているので丁度良いタイミングになります。積み置きした枝や幹は相当な量になります。4台のリアカーを使って皆さん苦勞しながら運んでいました。思っていたより重労働になりました。



太い幹は適当な大きさに切っています



切った幹や集めた枝をリアカーで置き場まで運搬



置き場でリアカーを返して枝などを落とします



2台のリアカーが同時に来ました

これまでトラスト地内の各地区に集積していた幹や枝を処分し、散策路にまくことが出来るので、スタッフの皆さんで協力して作業を行い、沢山の幹や枝を集めることができました。大型のチップperならあつという間にチップになってしまうので、当日は更に集めたり、枯損木を伐採するなどの作業が必要になると思われます。



作業終了後集まった枝や幹 高さは人の背丈ほど

来月からは来年1月に実施する落ち葉掃きに向けて重点的に堆肥置き場のあるD地区の刈り込みを行います。

最近は大規模台風の影響で毎年雑木林の、樹木が根から倒れたり、枝が途中で折れて枝掛かりしたりと被害が出ていましたが、今年は台風の直撃がなく、安心しております。

* 枯損木伐採・集めた枝や幹の処理作業

10月28日（水）トラスト協会各トラスト地の熟練会員12名、グリーンサポート隊6名、役場2名で枯損木の伐採作業、自走式チップパーで集めた枝や幹のチップング作業を実施しました。

チップング作業は、直径20センチ以上の幹は機械に入らないので集めた幹のかなりの量が残ってしまった。それでもかなりの量が処理できた。伐採は林内の枯損木約15本程度をチェーンソーでワイヤーを使って処理。随分きれいになりました。また、並行してキクイムシ被害を調査、緑地公園も含め30本ほどに被害が見られたので、キクイムシかどうか後日、県の専門家の判断を仰ぐことにしましたが、予想以上に被害が出ていることに驚きました。

○伐採作業



○チップパーによるチップング作業



○キクイムシ被害樹木にピンクのテーピング



(追加)

10月29日に県、トラスト協会からキクイムシの被害調査に来所、調査の結果トラスト地全地域（A、B、C、D、E）で痕跡が見つかり、全部で74本あったそうです。今後詳細調査を実施してカシノナガキクイムシかどうか判断するとのことです。カシノナガキクイムシの被害樹木の措置はそれを待って決定するとのことです。あまりの多さにびっくりしました。

(話題)

今年も日本最大のキノコ「ニオウシメジ」が発生しました。昨年から続けて発生です。今年は味見をしてみました。



来月、11月14日(日)は落ち葉掃きの準備作業で刈り取った笹や草の処理、チップを散策路へ散布するなどの作業をする予定です。人数、時間によっては住宅地側の植林した木が成長していますので、下枝払いをしたいと考えています。